

2025 年 8 月 5 日

千代田化工建設株式会社
総務部 IR・広報・サステナビリティ推進セクション

2026 年 3 月期第 1 四半期決算説明会 質疑応答要旨 (8 月 4 日開催)

8月4日に開催致しました、2026年3月期第1四半期決算説明会(オンライン)において、出席者の皆様から頂いた主なご質問と弊社の回答を以下にまとめております。

#	質問	回答
1	完成工事総利益率	
	第1四半期の完成工事総利益率は 10.4%と、通期計画の 9.2%を上回っているが、一過性要因などによる押し上げはあったのか。	• 去年は完工済み案件(タングーLNG)に関連する引当金の戻入益などの一過性の利益があったが、今回はそういったものもない。概ね実力値に近い決算である。
	通期の完成工事利益率の目線をもう一段引き上げる展開になってきているのか。	• ある程度第1四半期に近い水準で推移していくのではないかという見立てをしている。 • ゴールデンパスLNGについては、これまでは採算が厳しかったものが、若干ではあるが改善してきている。案件全般を通じ、恒常的な損益の改善が利益率を押し上げる要因になっているとみている。 • 国内についてはこれまでも一定の利益率があったが、連結子会社の千代田エクスワンエンジニアリング(株)については、利益の絶対額が昨年よりも増加しており、全体の利益率を押し上げる要因になっている。
2	受注	
	中東で 800～900 億円規模の新規受注があったと思うが、詳細は。	• 石油・石油化学関係の EPC 案件を受注した。案件の詳細についてはお伝えできないが、受注金額はご理解の通り。

#	質問	回答
	中期経営計画では海外案件に対する取り組み方改革が重要課題の一つとなっているが、改めて考え方を教えてほしい。	1兆円レベルの大型ランプサム案件を、当社がリスクの過半を取って受注するというやり方は現在の体力に比して身の丈を超えており、難しい。 - 顧客とのコミュニケーションを通じて、当社が許容できるリスクの範囲内に落とし込める場合は、トータルとして大型の案件であっても、リスクマネジメントを行いながら取り組んでいくことは考えられる。 案件への取り組みを工夫することで、中期経営計画の期間中に多様で安定的なポートフォリオを作り上げていきたい。
3	ゴールドデンパスLNG	
	前回決算時点からの第2/第3系列の契約状況進捗は。	- 第2/第3系列の契約改定について、6月に顧客と基本合意を締結した。 - 上期中の最終合意に向け、現在顧客と調整を行っている。 - 最終合意後、新たな納期・コストを踏まえて、速やかに採算の見直しを実施予定。

以 上

この資料には、本資料発表時における将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があり、予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。従いまして、この業績見通しのみに依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。